

江東区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	東京都江東区南砂2-3-1-101
施設名	江東区南砂第二保育園

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

さまざまな光

〈テーマの設定理由〉

年少クラスの際にスパンコールの洋服に太陽が反射して壁にキラキラ映った事をきっかけに反射した光探しが自然と始まった。そこから様々な光の不思議を体験できるように設定していった。

2 活動スケジュール

令和7年度	
5月 1日	①カラーポリ袋 バルーン(晴)
14日	②カラーポリ袋 バルーン(曇)
6月 16日	③水遊び×太陽 虹を発見
6月 25日	④カラーセロファンを使った制作
7月 3日	⑤折り紙×電気 反射している事に気が付く
10月 20日	⑥ペットボトル×懐中電灯 虹探し (自由遊びの中でも継続して行う姿がある)
1月 9日	④カラーセロファンの制作×太陽
1月 21日	⑦カラーセロファン×懐中電灯×ライトテーブル (作品展)
1月 27日	⑧クリア積み木×懐中電灯×ライトテーブル
3月 30日	⑨プリズム×懐中電灯

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

素材
・カラーポリ袋 ・プラダン ・カラーセロファン ・折り紙 ・ペットボトル ・懐中電灯 ・クリア積み木 ・ライトテーブル ・プリズム(三角柱等) ・マット

#### 4 探究活動の実践

##### 〈活動の内容〉

- 活動① カラーポリ袋でパラバルーン(晴)  
地面にも色が映り「キレイ」「すごい」と影が色付く事に気が付いたが、パラバルーン要素を楽しむ児が多かった。
- 活動② カラーポリ袋でパラバルーン(曇)  
同じ内容を行うと、地面に何も映らない事に気が付く。また、カラーポリ袋を地面の近くにすると少し色が映る事に気が付いた。
- 活動③ 水遊び×太陽  
水遊びをする中で、太陽の光が水に反射して虹を見付ける。
- 活動④ カラーセロファンを使った制作  
プラダンをロの形にしたものにブッカを貼り、カラーセロファンを子ども達が自由に切って貼っていった。完成したものを持って園庭に行き、自由に動かして光と影の関係や色の映り方を操り楽しんだ。
- 活動⑤ 折り紙×電気×懐中電灯  
折り紙の金・銀を使用して飾り切りをしていた児が自分の洋服が光っている事に気が付く。他児にもその発見を伝え、懐中電灯を用いた活動に繋がっていった。
- 活動⑥ ペットボトル×懐中電灯  
ペットボトルに水を入れて懐中電灯の光を当てていった。ペットボトルの向きを変えたり、光の当て方を変えていく中で反射した光に色が付いている事に気が付く姿があった。
- 活動⑦ カラーセロファン×懐中電灯×ライトテーブル  
④で作ったものを友達同士で組み合わせて形や見え方、色の混ざりを楽しんだ。
- 活動⑧ クリア積み木×懐中電灯×ライトテーブル  
積み木の要素を楽しんだ後、懐中電灯で照らし影の映り方を楽しんだ。テーブルの上で行った時とライトテーブルの上で行った時の違いを楽しんだ。
- 活動⑨ プリズム×懐中電灯  
プリズムを用いて懐中電灯で光を当て、光の屈折を楽しんだ。

##### 〈活動中のこどもの姿、声、子ども同士や保育者との関わり〉

- 活動①②  
・晴天の日と曇天の日と同じ活動をした事で、晴れているとバルーンの色が地面に色付き、曇っている日には地面に色付かない事に気が付く。また、曇っている日でも地面に近づける事で色が薄っすら映り、光の強さと対象物の距離感を感じていた。
- 活動③  
・水遊びでシャワーを使用したところ太陽が反射して虹が見える事に気が付く。「水の中に色が隠れてるのかな?」「太陽が反射してるんだよ!」「あっちからだと思えないのに、こっちからだと思えるよ!」等と声が挙がった。
- 活動④  
・カラーセロファンを自由に切ってボードに貼っていった。色を重ねる事で元の色と変わる事を楽しんでいた。園庭に出ると、ボードを動かし地面や靴、洋服に色が映る事を喜んだ。影があると色が映らない事に気が付き、太陽を探して歩き回り、影を操る姿があった。
- 活動⑤  
・「先生!洋服が光ったよ!」「電気の光が折り紙に反射して映ったんだよ。」と教えてくれたので、電気を消して試してみた。電気を消すと反射した光が消え、点けると洋服に映った。懐中電灯を用いると反射させて光を操ったり、懐中電灯で照らす距離を変えて影の変化に気付いていた。
- 活動⑥  
・最初は何をしているのかわからない様子であったが、段々と反射している光に色が付いている事に気が付いた。「もっと暗い方が見えるかも!」や「こっちから光を当てると色が見えるよ!」と教え合いながら楽しむ姿があった。「虹見えた!」と報告があると全員で確認をし、自分もと探求する姿があった。
- 活動⑦  
・④の活動の延長線で子ども達が四角いボードを組み合わせて形を作った。様々なものを組み合わせる事で見え方が変わり、こうしたらどうなるのか、こうやってみよう等とそれぞれで試す姿が見られた。
- 活動⑧  
・普段の積み木とは違った感触を楽しんでいた。積み木の要素を楽しんだところで懐中電灯を追加で用意すると、透けて見えたり、影に色が付いている事に喜んだ。ライトテーブルでは、下からの光に幻想的な雰囲気を楽しんでいた。
- 活動⑨  
・今まで様々な光の活動を続けてきた為、色探しをする事は容易であった。また、光を当てただけで色が分かれた為とても興味を持っていた。光の当て方を工夫し、虹の色が全色出てくる角度を探す姿もあった。用意したものを組み合わせる事で天井に虹を作り出す事にも成功していた。子ども同士で声を掛け合い、どのグループも虹を作り出す事ができていた。



## 5 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

・子ども達から発せられる様々な言葉には沢山の発見があり、私達保育者もハッとするような気づきが沢山あるという事をこの光遊びを通して改めて気付いた1年であった。子ども達の日常には、なぜ?と思う事が沢山あり、それを一緒に楽しみながら“実験”と称して取り組んできた。カラーポリ袋での気づきを試す為に、カラーセロファンで扱いやすくした事で試し動けた事も子ども達にとってはそれぞれの試したい事に注力でき良かったのではないかなと思う。水遊びのシャワーで虹が見える事も定番ではあるが、そこで「水の中に色が隠れているのかな?」という子どもの問いがなければ⑥の活動には繋がっていなかったと思うと、子どもの声に耳を傾けて共感しながら進めていく大切さを感じた。また、その活動が子ども達にとって楽しいものであり、自由遊びの時間にも取り組み、夢中になれるものになって良かった。光遊びを楽しむ子ども達の姿を見て、クリア積み木やキラキラした積み木、ライトテーブルを取り入れた。普段の積み木としての扱いをしつつ、懐中電灯等の光を用いる事で気づきや創造力が膨らんでいるようであった。引き続き自由に使える環境を整え、気づきや発見、創造力を豊かにしていってほしい。その為に、私達も“やってみたい”と思える環境を作る事、子ども達の“なぜ?”“どうして?”の気持ちに共感して楽しめる保育者でありたい。